

---

KRA不定期通信／コマツ・リサーチ・アンド・アドバイザリー(代表:小松 啓一郎)

---

7月に発行した『KRA 不定期通信』第1号に対し、読者の皆様からたくさんの激励やご意見・ご感想を頂きました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。『KRA 不定期通信』第3号では、読者の皆様から寄せられたオピニオンのいくつかを紹介させていただきます。

引き続き、ご意見・ご質問などありましたら、どしどし事務局([news@komatsuresearch.com](mailto:news@komatsuresearch.com))までお寄せ下さい。お寄せ頂いた内容は、お差し支えない範囲で本ニュースレターやKRAホームページ上でも適宜紹介させていただきます。

面白い情報や、忌憚ないご意見等、大歓迎！！

尚、『KRA不定期通信』のバックナンバーはKRAのホームページからご覧いただけます(<http://komatsuresearch.powweb.com/wordpress/ja/>)。

---

〈今号のメニュー〉

- 【1】 井上 淳 様(日本チェーンストア協会 専務理事)
- 【2】 佐藤 一彦 様(テクノロジーシードインキュベーション株式会社 パーソナルキャリアセンター)
- 【3】 事務局からのお知らせ

---

【1】 井上 淳 様(9月12日付)

日本人の危機意識の欠如に関連してコメントをひとつ・・・。

戦後の我が国は、「原発の安全性」にしても「平和」にしても、天賦のものとして与えられることに慣れきってしまいました。

原発は政府や電力会社によって「絶対安全」と保証され、日本の平和は米国によって保証されているという類のことが、各種の政策・社会制度から生活のあり方に至るまで、全てのことを考えるに当たっての前提とされてきました。

しかし、「絶対安全」「永遠の平和」というものが、(理想ではあるものの)虚構の世界であることは、少し考えればわかることです。

にも拘わらず、私達の社会が現実に目を瞑って虚構の世界に身を委ねることができたのは、戦後の一国繁栄主義の中での経済社会の成功という時代背景が大きな要因としてあったと思います。米ソ冷戦構造、高度成長等々戦後の日本を規定してきた国際的・国内的パラダイムは、私達の社会を、理想と現実との混同、あるいは虚構の世界での都合の良い安眠へと誘ってきました。

そこに今回の「想定外」の災害と事故の発生……。

私達の社会は、否応なしに虚構の世界から覚醒させられ、現実の危機やリスクと向き合うことになりました。

現実の危機やリスクと向き合う際、私達は、「絶対安全」という虚構の概念自身からも脱却しなければなりません。もし「絶対安全」という概念を判断基準としたままにして、「事故が起こるという現実の危機・リスクに向き合う」ということになると、結論は明快単純で「(絶対安全でないことが判った以上)全ての原発は即刻廃止」ということになります。

私は、ここで原発擁護をしているものではありません。エネルギー政策は国家の根幹のひとつですから、長期的・複眼的にしっかり議論をすべきですし、原発についても一旦事故がおきると相当長期・広域に社会生活を崩壊させる重大なリスクがあることを十分胆に銘じて議論をしなければいけないと考えています。

申し上げたいことは、これから日本社会は、様々な制度や社会のあり方について、重大かつ難しい選択を迫られることにならざるを得ないということです(移民制度についてもその重要なひとつです)。

多くの場合、それぞれの選択肢にメリット・デメリット双方が考えられる中で、将来に向けて「判断」し「決断」していかなければなりません。

「安全」か「危険」かという単純な二項対立的議論や、「将来の結果は事前に読めるはずだ」といった教科書に書いてある正解を調べるような従来型の議論からは卒業しなければなりません。また、私達の社会はこれまで、様々な選択について政府任せ、他人任せにしてしまう傾向が強かったと思いますが、このような姿勢も改めていく必要があると思います。

それが、真の意味での「生活者主権型の成熟した大人の社会」なのではないでしょうか。

日本チェーンストア協会  
専務理事  
井上 淳

---

【2】 佐藤 一彦 様(9月15日付)

… (前略)…今週は東京でも31-2度が続き残暑ではありますが、以前に比べ湿度が低いので陰にいる限りそう暑さは感じません。

先日曜日が“中秋の名月”でしたが天候に恵まれ月明かりがこうこうとし、金星以外の星を全て隠しておりました。今年には変に雨が多かったので家の前の林はまだ夏で昼間は蝉も同じように鳴いておりますが、さすがに夜は虫の音がうるさくなってきました。

野田政権発足で民主党の支援者はなんとなくホッとしております。

口が軽いとか与党の政治家としての自覚がないとか、これからも経産大臣と同じような事件が起きるものと思いますが、野田首相の見かけの重量感が安心の要のようにどうも思われております。

元々日本経済はLost Decadeとリーマンショック時から明確な成長路線を打ち出せておらず、今回の大震災、原発問題が日本の上に大きくかぶさっております。今後政権は極めて早い時期に国民にグランドデザインを提示しなければ大きな失望を買うことになる可能性が高いと考えております。目先でいうと原発問題は企業の空洞化と雇用の激減を伴うものなので感情論先行ではなく経済界、工業界等と意思の疎通を万全に行い、経済採算面、運用に関わるリスク・安全・対抗策を徹底的に議論すべきです。

人類の発展は「火」の発見と「火の安全な管理」によってもたらされたということを思い起こすことが重要です。

その過程において最先端の火の管理は「原子力」です。

原子力は本当に管理できないものなのか、この管理技術、経験と理論の裏付けによる技術進歩によりもっと安全なエネルギーが出てくるのではないかな？

高度な経験と知識が総合的に必要な原子力を事故が起きたから破棄しようなどと簡単に日本人があきらめて良いのか？

という根本的な所を詰める必要はあります。

事業仕分け時様々なことがありましたが実効はあるとはいえ単なるパフォーマンスでおしまい状態です。

上記の問題は日本人が、日本という国がこれから何を選択し如何に世界の中に融け込んでいくのか、ということなので関心を持たざるを得ません。

第三者的な見方ですがこれは第一線にはいない私だから思うのかもかもしれません。それも60歳以上は総人口の30%、55歳以上ですと37%もおります。色々考えねばならぬと思っております...(後略)...

テクノロジーシードインキュベーション株式会社

パーソネルキャリアセンター

佐藤一彦

---

### 【3】事務局からのお知らせ

本メールの全文の転送については、許可不要です。

ご意見・お問い合わせ：[news@komatsuresearch.com](mailto:news@komatsuresearch.com)

調査・講演関係のお問い合わせ：[info@komatsuresearch.com](mailto:info@komatsuresearch.com)

ニューズレターのバックナンバー：<http://komatsuresearch.powweb.com/wordpress/ja/kratoday>

配信解除：当メールへの返信でご連絡下さい。

---

- 本メールおよびリンク先のホームページに掲載した内容については可能な限り正確を期していますが、万が一誤謬があった場合、コマツ・リサーチ・アンド・アドバイザー（以下 KRA）は一切の責任を負いません。
- 本メールおよびリンク先のホームページに掲載した内容は、各執筆者の見解に基づき作成されたものであり、KRA の統一的な見解を示すものではありません。情報や見解は、予告なしに変更することがあります。
- リンクしている第三者のサイトのコンテンツに関しては、KRA はいかなる責任も負いません。
- 本メールおよびリンク先のレポートの内容を利用したことで発生したトラブルや損害についても、KRA は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

Copyright © Komatsu Research & Advisory 2011. All Rights Reserved